

理学療法学科 カリキュラムマップ

アドミッションポリシー(AP)

1. 本学園の建学の精神と「well-being」の追求に賛同する人
2. 「ありがとう」の言葉を大切に人と向き合い社会貢献していきたいと考える人
3. 医療・福祉への強い関心と資格取得への意欲と覚悟を持ちコミュニケーション能力を高めようと努力できる人
4. 人に寄り添いその人の笑顔を創造できるように目標に向かってともに歩むことができる人
5. 理学療法理論と実践的技術の習得ならびに自身の人間性を高めるために積極的な努力を継続できる人

ディプロマポリシー(DP)

- 医療知識や一般教養を身に付け、身体的・精神的自己管理能力を身に付けている。
- 専門的知識の理解と評価技術を身に付けている。問題解決能力や文章表現能力を身に付けている。
- 専門職としての責任感・信頼性を身に付け、調和のとれた社会人として成長する。

カリキュラムポリシー(CP)

基礎学力の向上と生物の成り立ちの理解を目指すと同時に、コミュニケーション能力を養う。

理学療法士になるための基本となる、人体の構造・機能などを理解し、問題解決に向けた基本を学ぶ。

専門基礎科目を学ぶことで、理学療法士にとって必要な疾病と障害における医学的知識を習得する。

保健・医療・福祉の専門職がチームで協働することを理解し、理学療法の本質を知る。

理学療法の専門科目を学び、理学療法士としての客観的視点を持ち、情報の収集及び整理を学ぶことで、問題発見能力を養う。

医療保険制度、介護保険制度を理解し、職場管理・職業倫理を高める態度を養う。

理学療法を展開するために必要となる理学療法評価に関する知識と技術・態度を身に付ける。さらにOSCE(客観的臨床能力試験)により、理解を深める。

理学療法評価に基づく治療との関わりを学び、さらに義肢装具や日常生活活動を学ぶことで、基本的理学療法プログラムの考え方を対象者に合わせた理学療法の展開を学ぶ。

社会情勢と社会からの多様なニーズを捉え、専門知識を応用して理学療法士が介入するための知識・技術を学ぶ。

実際の対象者と係ることとして人としての思いやりの心を養う。さらに専門職として、理学療法評価や問題を統合的に解釈し、具体的な治療プログラムの立案及び実施までの一連の理学療法を理解し、習得する。

区分	指定科目	第1学年		第2学年		第3学年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	情報と社会					
		心理学 トレーニング学 障害者スポーツ学 健康と運動	人間関係とコミュニケーション	総合学習論			
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学 I ~ IV 運動学 I・II 生理学 I・II					
		解剖学実習 I 機能解剖学 運動生理学演習 人間発達学 臨床心理学	解剖学実習 II				
専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	リハビリテーション医学	内科学 老年学	整形外科学 I・II 神経内科学 健康支援学	精神医学 小児科学 薬理学 栄養学		
		保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 作業療法概論 言語療法概論 保健医療福祉概論	多職種連携論 I・II			
専門基礎分野	基礎理学療法学	理学療法概論		基礎理学療法学			
		理学療法管理学	理学療法管理学	理学療法研究法			
専門基礎分野	理学療法評価学		理学療法評価学 I	理学療法評価学 II 理学療法評価学演習 I・II・III 理学療法評価学演習 II 臨床評価学			
			運動療法学	中枢理学療法治療学 I・II 運動器理学療法治療学 I・II 内部障害理学療法治療学 I・II 小児理学療法治療学 スポーツ理学療法治療学 理学療法治療学演習 I ~ IV 義肢装具学・実習 物理療法学 日常生活活動学・演習			
専門基礎分野	理学療法治療学					理学療法演習 I・II 臨床理学療法 I・II	
専門基礎分野	地域理学療法学			地域理学療法学 生活環境学			
専門基礎分野	臨床実習	臨床実習 I (見学)		地域理学療法実習	臨床実習 II (評価)	臨床実習 III (臨床)	